

令和7年度第1回佐倉市景観審議会 議事録

日 時	令和7年7月25日（金）10時～12時
場 所	佐倉市役所 議会棟2階 第4委員会室（オンライン併用）
出席者	木下 剛会長、永村 景子委員（オンライン参加）、田邊 学委員、 内田 儀久委員、小川 勝寛委員、森田 敬介委員、小沢 修委員
事務局	都市部長 菅澤 雄一郎、都市計画課長 菊間 明美、野澤 芽与 主査補、小林 美華主事
議事	1. 「わたしが見つけた佐倉の景観」について 2. その他（報告事項）
配布資料	資料1 佐倉の景観 周知スケジュール 資料2 わたしが見つけた佐倉の景観募集要項・用紙 資料3 オリジナルテーマについて こども向けポスター（案） 一般ポスター（案） 学童保育所現地調査用ポスター
傍聴人	0人

【議事録】

	内 容
木下会長	<p>議題 1、事務局から説明をお願いします。</p> <p>【議事説明】</p> <p>1. 「わたしが見つけた佐倉の景観」について</p>
木下会長	<p>はい。ご説明ありがとうございました。</p> <p>ご説明いただきましたとおり、いろいろと精力的に PR や周知をしていただいですばらしいと思いました。ありがとうございます。</p> <p>今日はこのオリジナルテーマについて、皆様からご意見をいただきたいと思ひます。今、事務局から案としまして、「ふるさと」をキーワードに使った「四季折々のふるさと佐倉」あるいは「ふるさと佐倉の原風景」の 2 案が提案されました。</p> <p>それから、令和 5 年度のオリジナルテーマが非常にすばらしく、特に「お気に入りの暮らしの風景」というテーマは様々な場所の景観や個人的な思いが込められた景観がたくさん応募されたことから、これをまた今年のテーマにしたり、あるいは固定化することもアイデアとしてご説明いただきました。</p> <p>そのことを踏まえまして、委員の皆様からオリジナルテーマについてのご意見をいただければと思ひます。いかがでしょうか。</p>
森田委員	<p>はい、森田です。</p> <p>「ふるさと佐倉の原風景」は非常に良いと思ひます。例えば、内田理彦委員が出してくれた昔の写真も応募されるということでしょうか。</p> <p>楽しみ方の 1 つとして「昔はこうだったな。」と写真を見て思える人は意外といるのではないかと思ひます。それを通じて景観に興味を湧いてくれるのではないかと思ひます。</p> <p>あと、「お気に入りの暮らしの風景」というテーマも良いのですが、固定化してしまうと思考停止になってしまいます。今回はそれで良いと思ひますが、固定化しようと決めなくて良いのではないかと思ひました。以上です。</p>
木下会長	<p>はい。他にいかがでしょうか。</p>
小沢委員	<p>はい、小沢です。</p> <p>前回お話したのですが、2 年前に佐倉里山自然公園という名前がついて、それをオリジナルテーマにすることを提案しましたが、里山というくくりでオ</p>

	<p>リジナルテーマになってしまいました。依然として、佐倉里山自然公園の知名度が低いのです。</p> <p>昨年の「さくらの景観まちづくり賞」の活動団体で入選しているボランティアは佐倉里山自然公園で活躍している人、また前回の写真の中に確かクマガイソウなどもあり、それも佐倉里山自然公園の写真です。佐倉里山自然公園はまだ皆様をご存じない様々な部分があるので、オリジナルテーマとして再度検討していただきたいです。</p> <p>佐倉里山自然公園で活動しているボランティアは10以上あり、その団体の人からも情報提供という形で写真の応募があるかもしれないです。また、生き物、田んぼなどのイベントで子どもが参加しているものもあるので、様々な人から佐倉里山自然公園の写真の応募があるのではないのでしょうか。魅力的な空間を再度皆様に知っていただく機会に使えるのではないかと思います。</p>
木下会長	<p>はい、ご意見ありがとうございます。</p> <p>これは特定の公園ということですか。ピンポイントでという考え方もあります。はい、田邊委員。</p>
田邊委員	<p>過去を振り返ってみると、佐倉の景観写真については自然系と歴史系というのは比較的充実していると思いますが、都市としての佐倉の姿を写し取っている写真というのはあまりないです。例えば、とても整然とした綺麗な住宅地があったり、ユーカーが丘などは高架の鉄道が通っていたりして、都市としても非常に特徴がある場所だと思います。</p> <p>そういうものも含めて、身近なところにある景観というのが、応募作品として出てくるようなテーマの設定というのも考えられると良いと思います。やはり、自分たちも景観を作っている主体なのだとすることが感じられるような写真というのが出てくると、景観がより身近なものに感じられるのではないかと思います。</p>
木下会長	<p>はい。ありがとうございます。仰るとおりだと思います。</p> <p>「お気に入りの暮らしの風景」というのは、その辺も含めたテーマ設定になっていると思います。</p>
田邊委員	<p>テーマということもあるのだと思いますが、出てきた写真の中から積極的にそういうものをカレンダーに引き上げていくなどの取り組みも必要なのかなと思います。</p>

木下会長	はい。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。はい。永村委員。
永村委員	<p>いろいろな取り組みをされていてすごく楽しみだなと思います。オリジナルテーマもご提案いただきましたが、まず1点、固定化してはどうかと仰っていた令和5年度のテーマについては、私もすごく良いテーマだったと思います。</p> <p>固定化すると思考停止するというお話もありましたが、「里山」と「お気に入りの暮らしの風景」を既存テーマの4と5で固定してもいいのかもしれないと個人的には考えています。</p> <p>だからといって、オリジナルテーマをやめてしまうと代り映えしなくなってくると思います。</p> <p>ご提案いただいた「ふるさと佐倉の原風景」も良いと思いますし、田邊委員が仰っていた都市としての風景ということで、確かに景観の分野でみると生活景という住宅街などが対象にならないのではないかと思われてしまっているのではないかという節があります。</p> <p>ですので、前回暮らしという形では入れましたが、生活や暮らしなど、もう一度身近な景観が見つかるようなテーマ設定は良いと思います。</p> <p>それから、もう一点、今回子どもに対する取り組みをたくさんしていただくという点では、「子どもに見せたい」や「子どもに残したい」などの少し今までとは表現を変えたテーマを設けることも良いと思いました。以上です。</p>
木下会長	はい。ありがとうございます。
小川委員	<p>はい。よろしいでしょうか。</p> <p>景観のテーマについて、歴史、文化はどの地域においても同じような形であるわけですが、例えば、ユーカーが丘と旧佐倉の温度差とその違いというのは、やはりこれから進化していく点であります。進化していく佐倉ということもテーマの一つに捉えていくと、新旧はやはり歴史的なものが交差しながら佐倉は歩いていくのだということを取り入れても良いのではないかと感じます。</p> <p>特に私がこの中ですばらしく、残すべきではないかと考えているのは加賀清水です。296号線沿いにある加賀清水公園なのですが、意外に皆様気づきがなく、位置的にもバスなども素通りしやすいのです。</p> <p>残すべきものは残しながら、進化していくものもある中で、例えば商店街などはもう衰退してきているわけです。</p> <p>私は商業者の立場から経済性のものを見て、経済効果がないまちづくりは将来的に厳しくなるのではないかと考えております。</p>

	<p>そういうことでテーマから少し温度差が出ると思いますが、残すべきものは大事に残して、変わっていくものについては、歴史性を通してこういった形で訴えていく必要があるのではないかと、言葉不足ですが、感じた点を申し上げさせていただきます。</p>
木下会長	<p>はい。ありがとうございます。</p>
森田委員	<p>森田です。先ほど永村委員からお話があったのですが、やはり固定化というのは、私はどちらかというと反対です。毎回委員が決めればいい。そう思えば決まればいい話だと思うので、固定化しようというのは、この景観審議会が佐倉市が設定されている意味がなくなってしまうと思います。</p> <p>例えばですけれど、そのテーマを話している時にまた、固定化はやめようとなるかもしれないですし、そうなると固定化ということの意味は全くないと思います。なので、毎回決めればいいと思います。以上です。</p>
内田儀久委員	<p>里山というのは広い意味で捉えているので、縮めていくと1番にある自然や田園の中に含まれるのかなと思います。つまり田園というのは里山と一体になっているのではないかと思うので、そういった形で上手い表現ができるのではないかと思います。</p> <p>もう一つは非常に高度で良いのですが、例えば佐倉に咲く花であるとか、その年だけでいいので一般の人が気軽に写真を撮って応募できるようなテーマがあっても良いのではないかと思います。以上です。</p>
木下会長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>整理させていただくと、森田委員からは令和5年度の「ふるさと佐倉の原風景」というテーマが良い。「お気に入りの暮らしの風景」も良いが、固定化する必要はないのではないかということです。</p> <p>小沢委員からは、佐倉里山自然公園などのエリア特定のテーマ設定というお話がありました。</p> <p>田邊委員からは、自然系、歴史系は充実しているけれど、都市にスポットを当てたようなテーマ設定ができると良いのではないのでしょうか。それからそういうものを積極的に選ぶ側が選んでいく取り組みも必要なのではないのでしょうか。</p> <p>永村委員は「お気に入りの暮らしの風景」を固定化しても良いのではないのでしょうか。また、生活景や暮らしということとこどもに今回PRされていますので、何かこども向けのテーマ設定があっても良いのではないのでしょうか。</p>

	<p>小川委員からは、ユーカリが丘と旧佐倉の交錯するような、両方の地点、特に進化して変わっていくものをどう捉えるかについてご指摘いただきました。場所としては、加賀清水公園についてです。</p> <p>最後、内田儀久委員からは、一般の人が気軽に応募できるようなわかりやすい、参加しやすいテーマ設定があった方が良いというご意見をいただきました。</p> <p>いろいろなご指摘をいただいたと思いますが、「ふるさと佐倉の原風景」と「お気に入りの暮らしの風景」というのは今年もオリジナルテーマとして入れていいのではないのでしょうか。加えて、場所を特定するようなテーマ設定と生活景や都市などの変わっていくものをどうテーマに据えていくかというところがポイントだと思います。</p> <p>オリジナルテーマについてまとめるためのご意見をいただければと思います。いかがでしょうか。</p>
小沢委員	<p>先ほど、森田委員が仰った「原風景」のカテゴリーの中に、昔の写真を応募するという案は結構良いと思いました。魅力があり、新しいオリジナルテーマにになり得る気がしました。</p>
木下会長	<p>やはり「ふるさと」という PR が良いので入ってくると良いと思います。失われてしまった景観を応募していただいても構わないですか。</p>
事務局	<p>はい。大丈夫です。</p>
小川委員	<p>はい。私は商業者の立場として、市民の方の視点と若干違いがあり、例を挙げるとすると歴史と文化をターゲットとしてよく分かるのですが、佐倉ならではの歴史という中で特にユーカリが丘です。佐倉といいますとよく言われるのはユーカリが丘の名前が出てくる。ユーカリが丘の歴史文化を特定するわけではないのですが、50年の歴史があって今の町ができています。今後、ユーカリが丘のデベロッパーである山万の力添えによって50年先を見据えた計画ができています。都市としてどういう形で進んでいくのかということも景観の中で残すべきことがあるのではないかと考えています。</p> <p>自然文化ということも分かるのですが、そういった都市の変化の図面が引かれているんだということも頭の中に入れる必要があるのではないかと思います。少し余談になるかもしれませんが、ご報告申し上げたいと思いました。以上です。</p>

木下会長	<p>どうでしょうか。ユーカリが丘を特定しても良いのかもしれない、これは都市的なものとのつながりがあり、進化していく佐倉と関わりがあります。</p> <p>他にいかがでしょう。オリジナルテーマは今日決めた方がよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>そうですね。できれば今日決めたいところです。</p> <p>ただ絶対にテーマは幾つまでというのは決めてはいないので、特に今回お話がありました、住宅街の写真が少ないのではないかとこのところはやはり、私たちも普段業務の中で、地区計画など住民の方にご協力いただいてまちづくりをしているということを感じているところです。</p> <p>まさにそういう地区計画などに従って建物を新しく建てるということが、景観を作っているというところを市民の方に感じてほしく、普段の生活から景観づくりに参加していただいているということは日々感じていることであります。</p> <p>なので、「私の住む町」のような、ご近所の写真を募集していることを伝えます。例えば、「四季折々の私の住む町」のようにすると、小川委員が仰っていた古い町並みが残る新町も対象になりますし、田邊委員が仰っていたユーカリが丘や染井野などの地区計画があるような新しい町なども対象になるので、今皆様のご意見を伺って、住宅街の写真を集めていることが伝わるテーマを決めるのも良いのではないかと思います。</p>
木下会長	<p>はい。田邊委員。</p>
田邊委員	<p>住宅街というのも一つのアイデアだと思いますが、写真展自体はずっと続いていくものなので、毎年ここで議論していることを、その場限りにしないで、アイデアとしてストックしていき、次年度以降の新しいアイデアを設定する時に反映していただければ、少し変わっていくのかなというふうに思います。</p> <p>また変えるのであれば、毎年似たようなテーマをやるのではなくて、やはりその年度ならではの特徴のあるテーマを設定したほうがいいのかというふうに思います。</p> <p>今一つ考えついた佐倉の特徴としてありそうなのは、ユーカリが丘にはユーカリが丘線というものがありますし、JRも通っています。それから京成電鉄も通っていて、鉄道のその沿線の中に見どころのようなポイントがたくさんあるので、駅や鉄道のある風景、沿線の風景などそういうものも一つ佐倉の特徴を映し出す上で、佐倉らしさが出てくるのではないかと思います。それは多分佐倉に住んでいる方だけではなくて、通勤や通学で佐倉を通過するだけの人たち</p>

<p>木下会長</p>	<p>も見ている風景なので、そういう方々とも共有していくことも考えられると思います。できればアイデアのストックをなるべくたくさん持って、ローテーションやそこから大きく変えていくという視点を持っていると良いと思います。</p> <p>市街地というテーマが既存テーマであります、この中に本来であれば住宅が入ってくるはずで。佐倉というどうしても、城下町や田園地帯のイメージが強いののでそちらに入れてしまうというのは非常に良くわかりますが、今皆様からご意見をいただいて、新しい町で育った人たちはそこがふるさとなわけですから、そういった視点もあります。</p> <p>また今、田邊委員からいろいろ案が出てきたので、今年はそのうちのどれにするか。そして次年度以降選べるような状況にしていく。今幾つか出てきた中から選ぶとすればどれにするか。いかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。森田委員と小沢委員からご意見を頂戴しました、「ふるさと佐倉の原風景」で昔の写真などの応募があると今昔のように比較できて面白いのではないかと思いますので、オリジナルテーマの1つ目として「ふるさと佐倉の原風景」とします。</p> <p>また、町並みの写真が欲しいというご意見については、先ほど木下会長からすでに市街地というテーマがあると仰っていただきましたが、この市街地という募集の仕方が皆様に刺さらないのではないかと感じました。そこで、こちらのポスターに市街地（通り、あなたの住む町）などというようにもっと分かりやすい表現に変えても良いのではないかと考えています。</p> <p>個人的な話になってしまいますが、私も鉄道が好きで、大佐倉駅など非常に素敵な景観が佐倉にはあり、なかなか佐倉の駅の写真が来ないと感じていました。鉄道のある風景ということで、京成線などは町並みぎりぎりのところを走っていたり、面白い景色がありますので、こちらのテーマでも市街地の写真が集まるのではないかと個人的には思います。</p> <p>また、小沢委員から佐倉里山自然公園についてご意見いただきましたが、田邊委員が仰っていたようにここで出た意見をストックして、今回一度に決めてしまうと次回以降のネタが尽きてしまうと思いますので、次回以降につなげていきたいと考えています。</p> <p>1つ目を「ふるさと佐倉の原風景」で決めさせていただいて、もう一つを皆様と選ばせていただければと思います。</p>
<p>木下会長</p>	<p>それでは、今事務局からご提案いただいた方向で、基本テーマの3番「市街地」は原案を作っていただいて、それをご審議いただくというのでいかがでし</p>

事務局	<p>ようか。</p> <p>はい。それでは、今年のオリジナルテーマは「ふるさと佐倉の原風景」ということで、市街地の募集の仕方についてはまた事務局で考えたものを委員の皆様にもメール等で提案させていただければと思います。そこでご意見いただければと思います。</p>
木下会長	<p>はい。それでは、議題の2番に進みたいと思います。</p> <p>その他、報告事項ということで事務局から説明をお願いします。</p> <p>【議事説明】</p> <p>2. その他（報告事項）</p>
木下会長	<p>はい。報告ありがとうございました。それではただ今の部分につきまして、何かご質問等あればどうぞお願いします。</p>
小沢委員	<p>アドバイザー報告の橋について、周辺が田園のような場所であれば、下が朱色や緑色などを使うのも良いかと思うのですが、そこをあえて暗い色にする必要があったのかどうかをお聞きしたいです。</p>
田邊委員	<p>はい。景観アドバイザーである私の方からご説明させていただきます。</p> <p>これについては橋自体が見せる要素のある橋と、この橋梁のように非常に小さくて、主対象として見せるべき橋なのかという判断があります。</p> <p>この橋に関して言うと、周辺の田園の中に溶け込んでいる姿の方が好ましいのではないかということで、この色を提案したわけです。</p> <p>写真の中で、右下のものが遠景から見た写真だと思いますが、後ろに農家の立派な建物が写っていると思います。こういう農家の建物も人工物ですが、このようにとても落ち着いた色合いでここにあるので、周りの自然がより豊かに引き立つというような関係性があります。</p> <p>この橋についても、橋が目立つよりも四季折々に変化する、例えば稲の色が変わっていったり、奥にある里山の色が変わっていったり、そういうところに目が向いた方がこの田園景観の中においては、よろしいのではないかという理由で、この橋については、焦げ茶色にさせていただくという提案をしました。</p> <p>橋というのはいろいろなタイプの架橋形式がありまして、上の部分が目立つように作っているような橋というものもあります。佐倉の谷津田の中にも真っ白なアーチ橋があると思います。そういったもののように遠くからも見えて、</p>

	<p>それが一種のその場所のランドマークになるような橋というのもあり得ますが、少なくともこの規模の橋においては、そうではないのではないかとというような提案をしました。私からは以上です。</p>
小沢委員	<p>民家が近くにあり、そういうのも配慮したという点は納得できます。今のお話よく分かりました。ありがとうございます。</p>
木下会長	<p>こちら日当たりの関係で色が暗く見えていますが、現場で肉眼で見るともう少し色が明るく見えるのではないかと思います。私はとても良いのではないかと思います。</p> <p>それではご意見がなさそうですので、事務局からその他連絡事項等あればよろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>はい。本日ご審議いただきました結果については、後日皆様からの意見を踏まえ、市街地の募集についてまた連絡させていただきたいと思います。</p> <p>また、報告事項についても、小沢委員以外からの質問はないということですので、こちらからの連絡はありません。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
木下会長	<p>はい。ありがとうございました。それでは本日の会議は以上となります。委員の皆様においては、お忙しいところ、ご参加いただきありがとうございました。事務局においては、より良い景観形成に向けての取り組みを引き続きお願いします。</p> <p>それでは、本日はありがとうございました。以上をもちまして、令和7年度第1回佐倉市景観審議会を閉会とさせていただきます。</p>